

(仮訳)

プレス・リリース

2024年7月3日

バーゼル銀行監督委員会（以下「バーゼル委」）は、銀行の暗号資産エクスポージャーに係る開示枠組みと資本基準及び銀行勘定の金利リスクに係る基準の改訂を承認し、サードパーティリスク諸原則について市中協議を行うことに合意。

- バーゼル委は、銀行の暗号資産エクスポージャーに係る開示枠組みを承認し、暗号資産に係る基準に関する対象を絞った改訂を行うことを承認。
- 銀行勘定の金利リスクに係る基準における金利ショック幅と関連する計算手法を更新することに合意。
- サードパーティリスクの健全な管理のための諸原則について市中協議を行うことに合意。

バーゼル委は、7月2日と3日にバーチャル会合を開催し、一連の政策・監督上の取組みについて議論した。

暗号資産

バーゼル委は、銀行の暗号資産エクスポージャーに係る[開示枠組み及び2022年12月に公表された暗号資産に係る基準](#)に関する[対象を絞った一連の改訂](#)についての市中協議へのコメントをレビューした。

バーゼル委は、銀行の暗号資産エクスポージャーを対象とする標準化された一連の公表用の計表とテンプレートを含む、最終化された開示枠組みを承認した。これらの開示は、情報の利用可能性を高め、市場規律を高めることを目的としている。この枠組みは今月中に公表され、2026年1月1日から実施される。

バーゼル委はまた、暗号資産に係る健全性基準に関する一連の対象を絞った改訂を承認した。これらの改訂は、同基準、特にステーブルコインが「グループ1b」暗号資産として規制上の優遇措置を受けるための要件に関して、一貫した理解を更に促進することを目的としている。更新された基準は今月中に公表され、2026年1月1日から実施される。

バーゼル委メンバーは、トークン化された預金やステーブルコインの潜在的な

発行体としての銀行のプルーデンス面の含意についても議論した。バーゼル委メンバーは、こうした商品による金融安定リスクの規模と重大さは、その具体的な構造や法域の法規制に部分的に依存していると述べた。足元の市場の動向に基づけば、これらのリスクはバーゼル枠組みによって概ね捕捉されている。バーゼル委は、この分野及び暗号資産市場におけるその他の動向を引き続き注視していく。

銀行勘定の金利リスク

バーゼル委は、[銀行勘定の金利リスク（IRRBB）に係る基準](#)について、一連の対象を絞った調整を行うことを提案する[市中協議](#)へのコメントをレビューした。

バーゼル委は、IRRBB 基準に規定されている金利ショックに対する一連の調整を承認したが、これは同基準における、水準を定期的に更新するとのコミットメントと整合的である。また、バーゼル委は金利がゼロ近傍にある期間における金利の変化をよりよく捕捉するために、これらのショックを計算するために用いられる手法について、対象を絞った調整を行うことに合意した。改訂された基準は今月中に公表され、2026年1月1日から実施される。

これらの変更は、バーゼル委が[2023年3月の銀行を巡る混乱](#)を受けて実施している IRRBB に関する分析作業とは関係していない。

サードパーティリスク

バーゼル委は、サードパーティリスクの健全な管理のための諸原則について市中協議を行うことに合意した。この諸原則は、銀行システムに関連する金融サービスの外部委託に関する現行の[ガイダンス](#)を置き換えるものである。この諸原則は、サードパーティサービス提供者の環境が、より大規模で多様なものとなった進展を反映しており、銀行と監督当局がサードパーティリスクを管理する際の共通のベースラインを提供する一助となるであろう。市中協議は今月中に公表される予定である。

気候関連金融リスク

バーゼル委は、気候関連金融リスクに関する第3の柱の開示枠組みを提案する[市中協議](#)へのコメントをレビューした。バーゼル委は、気候関連金融リスクに対処するための包括的なアプローチの一環として、そうした枠組みを最終化する作業を継続することに合意した。